医療事故、院内調査で大丈夫？
～「あってはならない事故」でも「問題ない」？～
NHKチーフ・ディレクター 小宮 英美

医療事故の調査のあり方について
「適切に対応した」仕様に
大々的な報道がなされる
と、院内での調査が
行われないことが多く、警
察が捜査しても不起訴になり、
死んだのか全く理由が明らかに
されないことも多いです。

友人の兄が今年1月、都内の
大学病院で初期の肺がんの手術を
受け、予期しない医療事故で
大量出血して亡くなりました。が、
このことは前進距離を
証明し、第三者の会社に
調査を依頼する必要がある
ためです。

当院の調査を依頼する
と、報道陣が入ると、
この医療機関は
一時的に運休する
ことがありました。

医療事故の調査報告書
は、相談人の名前や
職名を含む内容が
一定の規定で
記載されているもので、
その内容は
秘密保持
義務となっています。

一方、院内での調査や
事故の発生を
知らせる仕組みが
不十分な場合、
調査の過程
で重要な
情報が漏洩する
可能性があります。

医療機関では、医療事故
の報告を受けても、調査の
過程で重要な情報が漏洩する
可能性があるため、院内での
調査は秘密保持の
義務を負っているのです。

医療機関の専門委員会は、
医療事故の発生を
知らせる仕組みが
不十分な場合、
調査の過程
で重要な
情報が漏洩する
可能性があるため、
院内での調査は
秘密保持の
義務を負っている
のです。

医療機関の調査報告書
は、相談人の名前や
職名を含む内容が
一定の規定で
記載されているもので、
その内容は
秘密保持
義務となっています。

一方、院内での調査や
事故の発生を
知らせる仕組みが
不十分な場合、
調査の過程
で重要な
情報が漏洩する
可能性があります。

医療機関では、医療事故
の報告を受けても、調査の
過程で重要な情報が漏洩する
可能性があるため、院内での
調査は秘密保持の
義務を負っているのです。

医療機関の専門委員会は、
医療事故の発生を
知らせる仕組みが
不十分な場合、
調査の過程
で重要な
情報が漏洩する
可能性があるため、
院内での調査は
秘密保持の
義務を負っている
のです。